

令和5年度 社会教育委員 第1回会議

令和5年5月16日（火）

19：00～21：00

市役所会議棟大会議室

【出席者】

社会教育委員：田代保廣委員、大石絵美委員、青山朝美委員、熊谷紀男委員、
鈴木美香委員、中村吉哉委員、松本敬人委員、萩原淑恵委員、
西田正鋭委員

教育委員会：山中史章教育長

社会教育課：清水基之社会教育課長、杉村亮青少年係長、
杉山啓太郎社会教育係長

【会議の内容】

1 開会（事務局：杉山）

- ・委員任命後初回の会議であり、議長・副議長が選出されるまで杉山が暫定司会を務める旨を説明した。
- ・配付資料の確認を行った。

2 委嘱状交付

- ・令和5年5月1日から新任期となったため、山中教育長から名簿順にひとりづつ委嘱状を交付した。任期は令和7年4月30日までの2年間。委員9人（1人欠席）に交付した。

3 山中教育長あいさつ

- ・一昨年度「家庭教育の在り方」の提言書をいただき、お礼申し上げます。
- ・昨年度から「島田市における公民館の今後の在り方について」ご検討いただくよう諮問させていただき、現在調査研究を進めていただいている。
- ・金谷公民館が本年度より、指定管理者の下での施設管理になったが、社会教育施設として社会教育課の下での運営となっているので、ご承知おきいただきたい。
- ・本年度、中部地区社会教育委員連絡協議会志太地区社会教育委員研修会がふじのくに茶の都ミュージアムで7月19日に開催されると聞いている。本日の会合の中で、その日程等について詳しく検討されると聞いているので、志太の皆さんが集まって充実した研修となりますように、またよろしくお願ひしたい。
- ・本年度は社会教育委員の改選時期となっており、担当の方から話があったが、先程委嘱状をお渡ししたように、2年間よろしくお願ひしたい。今回は田代様と大石様におかれては5期目ということで、大変長期に亘り委員をお務めいただき、感謝申し上げます。担当から聞いたが、最長記録ということ。また、他の委員の方皆様にも再任していただき、島田市の今後の公民館の在り方について、またご提言をいただけるよう、お願ひしたい。

- ・皆様のお力をお借りして、島田市のまた社会教育について、これからも益々進展していけるように、お力を貸していただけるよう、お願いしたい。

4 委員及び職員の自己紹介

教育長、社会教育課長、青少年係長、社会教育係長、4人の順でひとりずつ自己紹介を行った。

5 議長及び副議長の選出

立候補者はいずれも無かった。推薦を募ったところ、委員から「田代委員を議長に、萩原委員を副議長に」との声があった。その旨について審議を行い、満場一致で承認された。推薦された両氏からも承諾を得た。

6 正副議長あいさつ

○田代保廣議長

- ・再任ということで微力であるが、1年間議長の任を務めさせていただき、よろしくお願いしたい。
- ・先程、山中教育長から10年最長記録と話があったが、私の覚えでは社会教育委員だけではないと思うが、委員は8年を限度というルールがあったと聞いている。私が社会教育委員として務めを果たすということは、今の諮問事項が終わっていないから、10年目を迎えたと思う。精一杯務めさせていただきたい。
- ・今日午後から青山議員も一緒に出ていただいたが、初倉小中学校の小中一貫を目指して、学校運営協議会をバラバラにあった運営協議会を一堂に会して開催したが、出席者は18人。前回アンケートがあったが、人数が多すぎるから議論にならない、もう少し小グループで議論したらどうかの提案があった。今日は3グループでそれぞれテーマを変えて、議論が活発化していろんな意見交換ができた。ランドデザインを含めて、ソフトの面ではかなり一貫を目指していると気がするし、先生方もそのような努力をされている。
- ・授業参観は1年生から6年生まで約20分間。普通なら6年かかるが、20分間で見ると成長の過程をまじまじと感ずることができる。
- ・タブレットを使ったデジタル化がかなり進んできている。子供達もかなり手早く操作している。パソコンを使っていると字を忘れる。子供達も字を覚える前にそちらの方に入って心配だったが、漢字の宿題も出していると聞いて少し安心した。
- ・今日は「ふるさと」を分けさせていただいた。その中に家庭教育の在り方を答申したものがあり、それを紹介させていただいた。初倉郷土研究会という組織があり、歴史を含めて初倉のことを投稿している。家庭教育のことを書かせてもらったが、未就学児、小学生編、中学高校生編と掲載されている。この「ふるさと」の読者はだいたい70歳以上の方が圧倒的に多い。よって、自分の子供の家庭教育というより、孫の家庭教育。皆さんにも啓発活動の一環として紹介させていただいた。

○萩原副議長

- ・広い見識と確かなリーダーシップのある田代議長を支えながら、皆さんと楽し

くやっていききたいと思う。よろしくお願ひしたい。

山中教育長退席

7 議題

(1) 令和5年度社会教育課主要事業について

- ・清水社会教育課長から、資料3「島田市教育の施策の概要」の社会教育課関係を基に説明を行った。

※委員からの意見等

- ・全国的に起こっている中学校の部活の社会体育化は土日あたりを中心としたものは、社会教育課としては関りがあるのか、学校教育課が担当しているのか。
(松本委員)
- ・学校教育課が担当しており、それに関する情報はまだ得ていない。(清水課長)
- ・将来的には社会教育のひとつとしてなりつつあるので、どこかで社会教育課もかんでいった方がいい気がする。(松本議員)
- ・方針が決まれば、我々が関わる場所の部分で対応を図っていききたい。(清水課長)

(2) 今年度の活動について

資料4により、事務局が説明した。

- ・年10回の会議の開催、今年度は「島田市における公民館の今後の在り方について」を中心に協議すること、県・中部地区等社会教育委員連絡協議会関係(見込)、県教育委員会関係、社会教育課の行事について説明した。
- ・県教育委員連絡協議会総会・研修会については、委員へメールで照会をさせていただき旨を説明。

※委員からの意見等

- ・県の協議会事務局の借用ビルが解体されるため、新たな事務所を探しているが、なかなか見つからず困っている。(田代議長)
- ・中部地区社会教育委員連絡協議会合同研修会は、川根本町で開催予定だが、例年閉会后、交流会を開催している。どうするか話題になっている。(田代議長)

(3) 各種委員会委員の選任について

資料5により、事務局が説明した。

- ・静岡県社会教育委員連絡協議会理事、静岡県中部地区社会教育委員連絡協議会理事については、それぞれの総会で議決されることになるが、本日、議長にされた田代保廣議長をお願いをしたい。

※委員からの意見等

- ・委員長、議長に選ばれるとあて職になる。よろしくお願ひを申し上げる。
(田代議長)

(4) 志太地区社会教育委員連絡協議会合同研修会について

資料4、別添ふじのくに茶の都ミュージアム～多目的ホール～により、事務局

が説明した。

- ・日程は7月19日（水）で決定。
- ・日程案は、21ページの焼津市で開催された昨年度のものをベースとしたものと22ページの1日開催案の2案を提案。
- ・講演は、諏訪原城に関連したものを博物館職員に講義していただく。
- ・レストランは併設されているが、営業が金、土、日曜日のみ。
- ・ホールでの飲食は可能。
- ・1日案で日程に余裕を持たせるようであれば、三市委員交流タイムをやめて早めに諏訪原城の見学に行くのもいいのではないか。

※委員からの意見等

- ・コロナ前は終日開催がノーマルの形。ふじのくに茶の都ミュージアムに来ていただくので、館内の見学をしていただきたい。それが1日案。（田代議長）
- ・諏訪原城は、調査研究が進めば進むほど、優れたお城だったと見えてきているので、説明してもらいじっくり見るのはすごく価値がある。30分の見学では、夏の暑い時期に駆け足で見るのは、もったいないので、じっくり見てもらえたら。講演がどのようなものになるかわからないが、好きな人には参考になる。整備される前の夏に行ったことがあるが、だいぶ蚊に刺されたので、できるだけ早い時間の方がいいと思う。草刈りもやっておいていただけるのか、汚れてもいっしょで行けば、ここがそうかと確かめに行ける。（松本委員）
- ・昔のお茶の郷時代とはまた違って、茶の都になってからもじっくり見る価値はある気がしているので、せっかく来ていただくので見てもらってもいいのではないか。一方、半日開催で会費の中で納まるようにしてきた。一日開催に戻すとまた続くので、コロナが終わっても半日開催でコンパクトな中でやるということでも悪くはないのでは、昼食の手配も大変。（松本委員）
- ・中部地区の役員会でもこの話をしていくつもりなので、今日決めていきたい。（田代議長）
- ・各市の事例紹介も時間が伸びる可能性があるのか。（松本委員）
- ・意外と皆さん、時間厳守している。（田代議長）
- ・伸びると半日開催だと後が詰まってしまう、諏訪原城に行かずにそのまま帰ってしまう方もたくさん出てしまうかもしれない。（松本委員）
- ・コロナが明けたので、元に戻す算段でいる。いかがか。（田代委員）
- ・あと、もうひとつ考えると、お昼前に来ていただき、食事をして半日パターンもあると田代議長、萩原副議長からも意見をいただいていたが、お昼を挟むとなると、午前中に何か行事がないと焼津市、藤枝市が来づらいのではと考える。（事務局）
- ・来づらいのは、事務局が来づらいのか？（田代議長）
- ・始めるきっかけが難しくなる。食事から始めると時間がバラバラしてしまう恐れがある。（清水課長）
- ・食事からであれば、11時頃から1時間ぐらい施設見学をし、12時から食事で午後開始か。（事務局）
- ・茶の都ミュージアムは行ったことがないが、見るところはあるのか。（西田委員）

- ・ 見るところはある。(事務局)
- ・ 食事も合わせて1時間30分取っているが、1時間も見るところがあるのか。
(西田委員)
- ・ お抹茶を立てていただいたりすることができるのであれば、何人かそういった体験を座敷のところで体験していただくのもひとつの手か。それぐらいの時間があれば、何人かの方がお抹茶を立てることもできると思うが、それはお願いしなければいけないのか。(鈴木委員)
- ・ 別料金となる。おおよその人数を伝えたところ、3班ぐらいに分かれればそれも体験できるとのこと。(事務局)
- ・ 私達がお茶を入れるのもいいが、せっかくなのでお抹茶を立てていただいた方が、おいしいお茶をいただいてもらえるので、交流タイムとかよりもそちらに時間を使った方がいいのではないか。(鈴木委員)
- ・ お庭を見るのもいいのでは。(萩原副議長)
- ・ お抹茶を飲んでる部屋の和室から晴れていけば、富士山が見られるのでそれもいいのでは。(松本議員)
- ・ そのような体験をさせるのであれば、一日開催と決めていけば皆さん意見も出やすいのでは。半日、一日両方ともメリットはあるので、議長が言われたように元に戻すということであれば、一日ということメニューを組んでいった方が、皆さん話し合いができるのかと思う。(西田委員)
- ・ 田代議長の思いも伝わってきたので、半日は撤回する。(松本議員)
- ・ ミュージアムを見ると、体験をさせるということであれば1日。(西田委員)
- ・ 時間の問題もある。三市の交流会も以外になかなかしゃべれない。三市の発表について言うのか、講演について言うのか、それとも全然関係ないことに言うのか、割愛できるなら割愛して、ふじのくに茶の都ミュージアムの施設見学と諏訪原城の見学をやるとか、もう少しゆったりと諏訪原城の公園でゆっくりしてもいいのでは。行かなくても行ったような気になるような講演やスライドをやってもらえればいいのではという気がする。(松本委員)
- ・ 半日でやった時に、印象としては行って帰ってきただけみたいな、人との繋がりがそういうのが全く頭に残ってなくて、ここは見たというのものもあるが、せっかく集まる機会なので、人が三市で交流する、例えば茶の都ミュージアムを中心とか、諏訪原城を中心にでもいいし、本当は活動を中心にだが、わいわいがやがやと話をできる時間があるといい、そういう意味で一日もいい。(萩原副議長)
- ・ 藤枝と焼津と開催してくれて印象に残っているには、焼津の時は小川港に行つて、サメの解体をして肝臓などを取り出してくれて、サメの肝臓の大きさに驚いた。クイズを出してくれたり、有名な方だったが楽しませてくれた。印象に残っている。藤枝はヴィヴィで開催されたが、そこだけの会合で終わったので、あまり記憶には残っていない。(松本委員)
- ・ 前回島田市が担当した時は初倉公民館で開催したが、コロナに入ってしまった、オンラインで実施した。そのため交流会もなかなか話しづらかった。(田代議員)
- ・ 講演も静岡空港の機長が来てくれて、話をしてくれて、滅多に聞けないお話を

聞けたのは覚えている。あの時の交流会の私のいたグループの話題は、機長の話の感想がずいぶん出た。(松本委員)

- あれ以来、交流会をやっていない。(田代議長)
- 日程は一日開催と決めて、進めていきたい。(事務局)
- 終日ということで開催ということで、皆さんお願いしたい。(田代議長)
- 一日ということで、スケジュール的には余裕が出てくるし、おもてなしができればと思う。また、この場で島田市の活動紹介代表の方を相談していただけないか。(事務局)
- 大石委員は活動事例紹介をしたことがあったか。(田代議長)
- ない。(大石委員)
- 大石委員の活動を聞いたことがないので聞いてみたい。(田代議長)
- 子供達の職業体験のことなどすごく幅広く活動されていると聞いているので、一度聞いてみたい。(萩原副議長)
- 大石委員にお願いすることでどうか。(田代議長)
- 満場一致で決定。
- 事務局でも連携取って、サポートしながら一緒に準備していく。会場は、プロジェクターもパソコンも備え付けでミュージアムで貸してもらえる。(事務局)
- 日程が一日になったので、これを基に自分の方で組み立てをしたいと思うが、委員の皆様の方でこれをやったらどうかというようなものがまだあれば、意見をいただきたい。会場もロケーションがいいところなので、その辺りも楽しんでもらえればと思う。(事務局)
- 500円出すと、抹茶お菓子付きがある。(田代議長)
- お茶体験もプログラムに入れようにするか。(事務局)
- 全員か希望者かどうするか。(松本委員)
- お茶だと2階に上がった富士山が見えるところで試飲をさせてくれたと思う。(萩原副議長)
- 私が行った時も飲ませてもらった。(松本委員)
- 70歳以上は無料だったと思うが。(田代議長)
- その通り。(事務局)
- お庭を見ながら、お抹茶もいいと思う。(萩原副議長)
- 予算があってできるものであれば、ぜひ実施したい。(鈴木委員)
- 三市の参加者から希望を取って組み込むか。予算は講師代がかからないこともあり、何とかかなと思う。(事務局)
- 博物館の見学は3班でもいいが、庭の散策やお茶を飲むとかはフリーでもいいのでは。(田代議長)
- お茶を立てる方は、時間と人数を事前に伝えるのでは。(萩原副議長)
- 以前は入った時にその場でやってくれたと思うが、今はそうなのか。(松本委員)
- リッチモンドから来た時もよく連れていくが、何時から何人なので何時に来てくださいと言われた。(萩原副議長)
- 諏訪原城はきれいに整備されていて、NHKにも萩原さんが出演されて諏訪原城の説明をされていた。「どうする?!家康」の話をされていた。

- ・興味がある。(西田委員)
- ・萩原さんもお詳しい方なので、おもしろい話をしてくれると思う。事前に施設見学もセットだと伝えておけば、流れの話をしてくれると思う。(事務局)
- ・施設見学と抹茶を立てるところは、バラバラ行けるかどうか確認をして、行けないようであれば、希望を事前にとっておいて、お昼のフリータイムに体験をしてもらう組み立てでどうか。先方と詰めておく。(事務局)
- ・牧之原公園も景色がいいと思う。(田代議長)
- ・施設見学と体験は昼を長めに取る形でいいか。(事務局)
- ・諏訪原城を見学する前にお話を聞いてもらえれば、興味も湧いてくると思う。(事務局)
- ・昔と比べて、今は整備されてわかりやすい。(田代議長、松本委員)
- ・皆さんの意見を集約して、組み立てを変えてみる。交流タイムはどうするか。(事務局)
- ・焼津市の会長はこれが重要であると言う。(田代議長)
- ・昼食時にやったらどうか。何もなしで話をするのは難しいが、食事をしながらなら和やかにできる。(鈴木委員)
- ・食事の際の座席をグループ分けして、午前中の各市の発表について話をしてもらい、改めて時間を設けることはやめる。(事務局)
- ・原則は終日、中身を少し組み替える。当日は皆さんに受付や司会などの協力をお願いする。(田代議長)

(5) 「島田市における公民館の今後の在り方について」の検討

これまでの経過を事務局が説明。

- ・今日は私の視点、論点、展開の方法を申し上げて、いい・悪いは考えない。会合までに、皆さん方の考えや意見があれば、事務局へメール等書いた物で提出してもらい、その後詰めていくことにして、私の方からの一方的な話をしたい。(田代議長)
- ・これまでの会議で掘り下げていく中で、基本は六合、金谷、初倉それらを論じる中で論点拡大しなければならないかと前から話があった。公民館の現状と課題を整理するという諮問の中身があるが、公民館の運営審議会に出ささせていただいたが、この公民館はこのことはだめ、このことはいいと一口に言えない。個別にこれが課題、これがいいということはできない、力がないと思い、ここは無責任の話になるが、所管は社会教育課になるが、所管部署と公民館が検証してみてくださいませんか、検証の結果、私のところはできているというところはいいが、言われてみるとここが課題か問題かと思った時に、このように考えたたらどうかという展開にしていったらどうかというのがこの2番目のメモ。2月に出したのが、1番目のメモ。1番と2番はもう少し情報を集めなければいけないと思うが、④番にあるように文科省が「公民館参加者層の固定化」について問題提起されている。通達が探し出せないのだが。本題は3番からになる。島田市における公民館の現状と課題検証。公民館の基本機能は変わらないが、社会構造の変化に対応しているかということの問題提起しているのがこ

こ。近年になって、行政や地域住民から、高齢化や核家族化に伴う人々の価値観の多様化、生活の個別化そして情報受発信の革命等の社会構造変化に対応した公民館の基本機能を発揮する具体的役割を果たしているかが課題提起されるようになってきている。それらの課題について公民館が検証を求められるのではないということをまず言い、ではどんなことを言っていくかというところだが、公民館自身自ら検証する。冒頭、島田市社会教育課が設置者となっていて、社会教育施設の中心となっている金谷公民館、六合公民館、初倉公民館の3館と所管部署が、社会構造の変化に対応した次の課題について自己検証されたいと。つまりこちらから指摘するのではなく、皆さん自分で検証してみてくださいませんかという言い方。一つ目は、講座や会議等目的があって利用する者以外の人が集まって団らんする機会・場所、そのような場は提供されているか。それから社会教育講座や自主グループの趣味・教養の講座等が幅広く実施されると、このことはわかると。ただ、参加者が固定化していて特定グループのつながりになっていないかということを検証してみてくださいませんか。3番目は、趣味・教養の楽習・活動は個人的・サークル的なものから地域コミュニティの課題解決のための学習グループに発展するよう支援しているか、いわゆるこれが地域支援機能。例えば、防災、家庭教育、学校支援とあると思うが、発展しているか、支援しているかということ。それから地域の自治会、コミュニティ、ボランティア団体との連携は、皆さん連携は取れていると確かに聞かれる。公民館が地域課題解決のためのよりどころとして受け止められているか、ちょっと難しい。私も町内会長会をやっていたが、あまり公民館と連携はなかった。コミュニティは確かに公民館の支援をしてくれたと覚えはある。ではどんな課題提起か、5番目はそれぞれの公民館が地域に即した自身のパーパス、存在意義を認識し、地域住民のニーズに合った事業展開をしているかと。ビジョンとかミッションというのは近い将来から遠い将来まで含めた未来のことを謳っている。そういう未来の実現をするために今の今自身、公民館自身が存在意義を認識しているかと、何のために存在しているか、そこを認識しているかとそういう展開、事業展開をしているかと。今盛んに企業が叫ばれている話でそれを公民館に持ってきたと。6つ目は公民館運営審議会は、委員の意見・提言等が運営に生かされているかと、また、委員構成は公民館利用者に限らずそれ以外の者も含めて、幅広く選出されているかと。今見てみると、運営審議会はほとんど利用者で固められている。だからその人達の意見の集約、反映はできると思うが、利用されていない人も集ってもらいたい、以外の者も含めて選出してもらいたいなど意味合いがあり、このような書き方をしているわけ。今の私の頭の中に出てくる課題と考えられるものは、その辺で7とか8とかまだあるだろう。それを考えていかなければならない。そういう課題をそれぞれ公民館が検証した結果、十分やっている、言われるまでもないよということであればそれでいい。で、その課題検証の結果、島田市の公民館の在り方、提言、前項における課題対処が十分でない認識されている公民館は、以下に述べる公民館のありたい機能・役割を参考に自らのオリジナリティを見出し、取り組んでいただきたいと。また、作文はできてないが、公民館の基本機能と求められる具体的役割、交流、学習、地域づくり支援、3つの役割を述べていか

なければならないし、いわゆるセンター化、初倉くからも総合センターなのだが総合センターの中に公民館があると、連携、機能分担。ここと指定管理者の話のことも少しは入れていかなければならないかと。まだここは整理していない。在り方理論はまだ整理していないが、課題の出し方はこういうやり方でいいかと、個別にあなたの公民館はという指摘の力はないと考えているので、自ら考えてほしいという言い方をしたのが、考え方。言いたいことはたくさんあるかと思うが、時間がないので今日はやめる。これに対して、もっと違う考え方が課題展開、要点整理していったらどうなのかあれば、出していただきたい。なるべく書いた物で。メールでいいから。そこをお願いして、今日は私の方からこの問題について一方的な話をさせていただいたということである。意見は求めない、今日は。要は人の繋がり、人の交流を大事にしていきたい。前回の議事録でも最後に萩原委員に述べていただいた人と人の交流の場、繋がりという話が出てきたが、そこが一番大事なことかと私も思う。こういう答申もあまりないかもしれない、あれやれこれやれと。自浄努力をしてくださいという意味合いもある。公民館だけに押し付けるのではなく、所管部署である社会教育課も一緒に考えること。で、そのいいところは類似施設にも広げて、公会堂にも広げてということ。(田代議長)

- 今日、年度当初最初の会議ということで連絡事項も多かったので、議長にご配慮いただいて、公民館の今後の在り方については資料をお分けして、次回から本格的にというところで準備をさせていただいている。意見等あれば、何でも構わないので、私のところへメールでいただければ、次回の会議の参考にさせていただき、また、こちらの協議は昨年度も皆さんにやっけていただいているので、次回の会議に入りやすくなるように、キーワード的なものも去年も出ているはずなので、そういったものも整理して、次回の会議からこの提言についての議論ができるように準備していくので、ご協力をお願いしたい。
- 次回は6月に開催したい。近々で日程照会させていただく。また、なるべく皆さまのご負担のない時間帯で開催し、たくさんの委員の皆様にご出席いただき、たくさんの意見をいただけるように日程調整をしていきたい。ひとつの案は17時から19時の開催案があるが、どうか。昼、夜と選択肢は多めにして日程照会させていただく。

10 その他

- (1) 令和5年度社会教育基礎研修の出欠確認について
→出席者なし

11 閉会（萩原副議長）

- 5月24日に夕方、西の空に月のそばに火星と金星が並ぶ。それを見ながら公民館の在り方について、考えてみたい。